

令和7年度当初予算 8.8億円(一)

## 事業の目的

- こどもの視点に立った多様な居場所づくりが行われるよう、地方自治体におけるこどもの居場所づくりの支援体制の構築等に必要となる「こどもの居場所づくりコーディネーター」の配置等の支援を行う。「こどもの居場所づくりコーディネーター」は、地域の既存資源の把握やネットワーキング、利用ニーズの実態把握や、新たに居場所づくりをする人の支援、継続していくためのサポート等の役割を担い、地域全体でこどもの居場所づくりの推進に取り組む。

## 事業の概要

地域のニーズを把握し、資源の発掘・活用、その地域で居場所を求めるこどもを居場所につなげる等、地域の居場所全体をコーディネートしたり、安定的で質の高い居場所の運営において必要となる、運営資金のやりくりや人材の活用・育成等の組織経営をサポートする人材の配置に対して財政支援を行う。

また、地方自治体と連携して実施される居場所づくりの取組に対し、その立ち上げ資金を補助する。

### 【こどもの居場所づくりコーディネーターの要件】

- 地域の実情に応じたコーディネートができ、本事業を適切に行うことができると自治体が認めた者

### 【こどもの居場所づくりコーディネーターの業務内容】

- 居場所に関する地域資源の把握
- 居場所同士や関係機関等ネットワーク形成
- その他、地域の実情等に応じて行う業務



## 実施主体等

【実施主体】都道府県、市区町村

【補助率】国1/2、都道府県・市区町村 1/2

【補助基準額案】 i) コーディネーター配置 (1実施主体あたり)

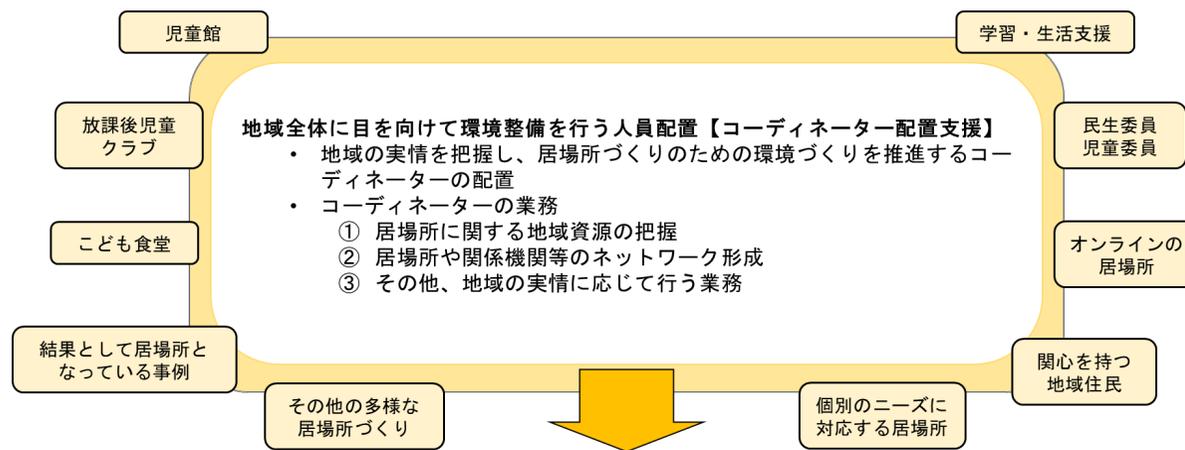
16,084千円 (3名以上配置の場合)

10,848千円 (2名配置の場合)

5,328千円 (1名配置の場合)

ii) 居場所立ち上げ支援 (1か所あたり)

50千円



全てのこども・若者が切れ目なく居場所を見つけることのできる社会の実現

～4つの基本的な視点について～

## こどもの居場所づくりを進めるに当たっての基本的な視点

### 「ふやす」

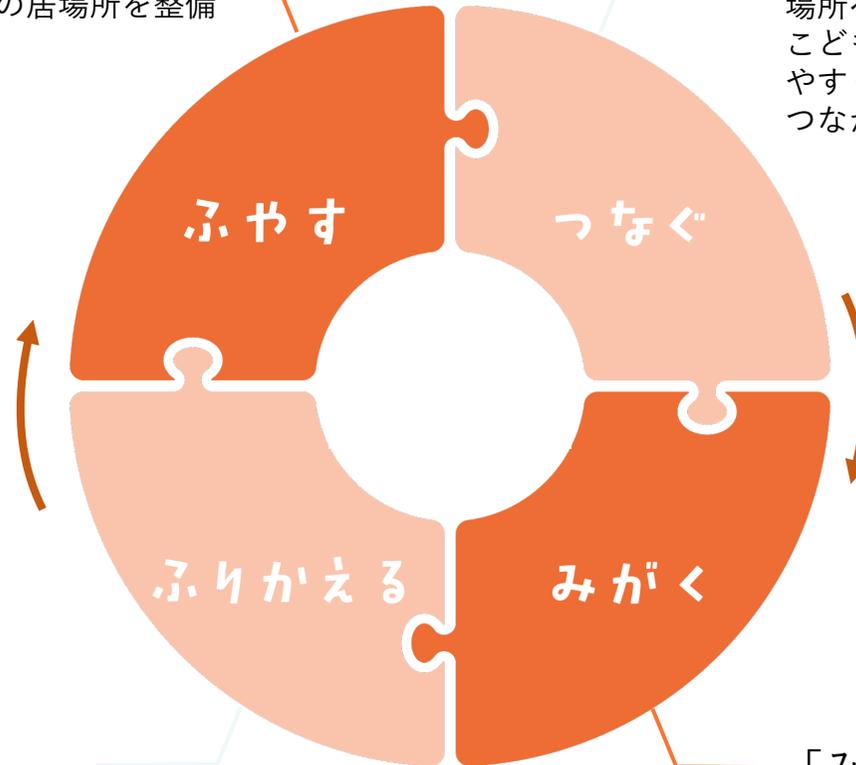
多様なこどもの居場所がつくられる

地域に住むこども・若者が居場所を持っているかなどの実態を把握し、こどもの居場所を整備すること

### 「つなぐ」

こどもが居場所につながる

居場所は創設するだけでなく、その居場所へのアクセスも含んだ概念であり、こども・若者が居場所を見つけ、利用しやすくするための工夫を施し、居場所につながること



### 「ふりかえる」

こどもの居場所づくりを検証する

環境の変化によって、こどもの居場所も変化することなどを踏まえ、居場所づくりを不断に見直すこと

### 「みかく」

こどもにとってよりよい居場所となる

こうした居場所づくりにより形成された場が、多くのこどもにとって居場所になるための工夫を施すこと

## 新潟県新潟市の取組

- 新潟市子ども食堂ネットワークの事務局を担っている新潟市社会福祉協議会に委託し、こどもの居場所づくりを支援するコーディネーターを配置。
- 居場所に関する立ち上げ相談や運営相談等の支援を実施するとともに、寄付者と居場所を仲介。
- 「新潟市こどもの居場所ポータルサイト」を開設。

新潟市  
こどもの居場所  
ポータルサイト

こどもの居場所とは ニュース お問い合わせ

こどもの居場所に行きたい

こどもの居場所を運営したい

こどもの居場所を支援したい

みんなが集い、  
心がつながる場所へ

### 参画のかたち

#### 地域で見守る

学校や公園はもちろん、商店街やショッピングモール、図書館など、まちのさまざまな場所がこどもたちの居場所となっています。大人がこどもたちの様子を見守り、安全で安心できる環境をつくっていきましょう。

#### 居場所をつくる

こども食堂や学習支援など、新しい居場所をつくることもできます。空き店舗や集会所を活用した取り組みも増えています。様々な支援制度を活用しながら、あなたにできる居場所づくりを始めてみませんか。

詳しく見る →

#### 支援で参加する

すでにある居場所づくりの活動を支援することもできます。食材や物資の提供、ボランティアとしての参加など、様々なかたちで関わることができます。

詳しく見る →

新潟市こどもの居場所ポータルサイトより  
<https://www.niigata-kodomoibasho.jp/>